

平成 29 年度 ファイナルチェック問題 (30 分) 中学校 2 年数学 (1)

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

|     |
|-----|
| 正答数 |
| /16 |

【1】 次の (1) から (3) までの各問いに答えなさい。

(1)  $-20 + 12 \div 4$  を計算しなさい。

(2) 二元一次方程式  $x + y = 4$  の解について、下のアからエまでのの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

ア  $x = 2, y = 2$  の 1 組だけが、 $x + y = 4$  の解である。

イ  $x + y = 4$  を成り立たせる整数  $x, y$  の値の組だけが、 $x + y = 4$  の解である。

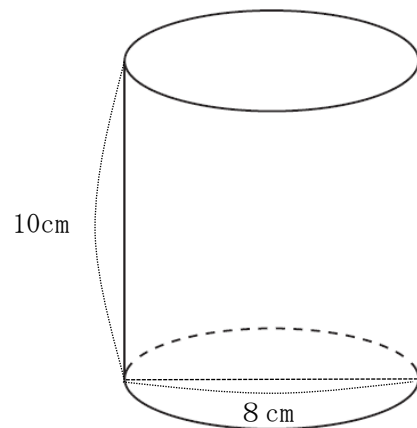
ウ  $x + y = 4$  を成り立たせる  $x, y$  の値の組のすべてが、 $x + y = 4$  の解である。

エ  $x + y = 4$  の解はない。

(3) 連立方程式  $\begin{cases} 2x + 5y = 4 \\ 5x + 2y = 3 \end{cases}$  を解きなさい。

|     |  |     |  |     |                              |
|-----|--|-----|--|-----|------------------------------|
| (1) |  | (2) |  | (3) | $(x, y) = ( \quad , \quad )$ |
|-----|--|-----|--|-----|------------------------------|

【2】 底面の直径が 8 cm、高さが 10 cm の円柱の体積を求めなさい。ただし、円周率は  $\pi$  とします。



|               |
|---------------|
| $\text{cm}^3$ |
|---------------|

平成 29 年度 ファイナルチェック問題 (30 分) 中学校 2 年数学 (2)

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

【3】 茂さんは、連続する 3 つの自然数の和がどんな数になるかを考えています。

$$\begin{array}{ll} 1, 2, 3 \text{ のとき} & 1 + 2 + 3 = 6 \\ 2, 3, 4 \text{ のとき} & 2 + 3 + 4 = 9 \\ 3, 4, 5 \text{ のとき} & 3 + 4 + 5 = 12 \end{array}$$

上で調べたことから、茂さんは、次のことを予想しました。

茂さんの予想

連続する 3 つの自然数の和は、3 の倍数になる。

次の (1), (2) の各問いに答えなさい。

(1) 茂さんの予想がいつでも成り立つことを説明します。下の説明を完成しなさい。

説明

連続する 3 つの自然数のうち、最も小さい数を  $n$  とすると、連続する 3 つの自然数は、 $n, n+1, n+2$  と表される。

したがって、連続する 3 つの自然数の和は、

$n + (n+1) + (n+2) =$

(2) 茂さんは、連続する 3 つの自然数を、連続する 3 つの偶数に変えたとき、その和がどんな数になるかを考えてみたいと思い、いくつかの場合を調べました。

$$\begin{array}{ll} 2, 4, 6 \text{ のとき} & 2 + 4 + 6 = 12 \\ 8, 10, 12 \text{ のとき} & 8 + 10 + 12 = 30 \\ 20, 22, 24 \text{ のとき} & 20 + 22 + 24 = 66 \\ \vdots & \vdots \end{array}$$

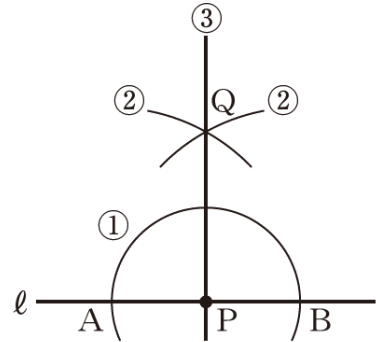
連続する 3 つの偶数の和は、どんな数になると予想できますか。茂さんの予想の書き方のよ  
うに「～は、……になる。」という形で書きなさい。

|     |                       |
|-----|-----------------------|
| (1) | $n + (n+1) + (n+2) =$ |
| (2) |                       |

【4】 直線  $l$  上の点  $P$  を通る  $l$  の垂線を、次の①, ②, ③の手順で作図しました。

作図の方法

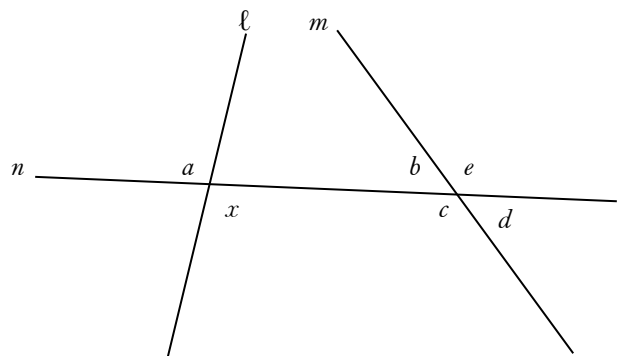
- ① 点  $P$  を中心として、適当な半径の円をかき、直線  $l$  との交点をそれぞれ点  $A$ , 点  $B$  とする。
- ② 点  $A$ , 点  $B$  を中心として、等しい半径の円を交わるようにかき、その交点の 1 つを点  $Q$  とする。
- ③ 点  $P$  と点  $Q$  を通る直線をひく。



この作図の方法は、対称な図形の性質を用いているとみることができます。どのような性質を用いているといえるか、下のアからオまでのの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

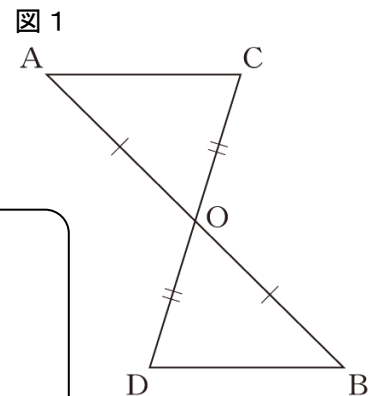
- ア 直線  $AB$  を対称軸とする線対称な図形の性質
- イ 直線  $PQ$  を対称軸とする線対称な図形の性質
- ウ 点  $A$  を対称の中心とする点対称な図形の性質
- エ 点  $B$  を対称の中心とする点対称な図形の性質
- オ 点  $Q$  を対称の中心とする点対称な図形の性質

【5】 右の図で、2 つの直線  $l$ ,  $m$  に 1 つの直線  $n$  が交わっています。このとき、 $\angle x$  の同位角について、下のアからカまでのの中から正しいものを 1 つ選びなさい。



- ア  $\angle x$  の同位角は、 $\angle a$  である。
- イ  $\angle x$  の同位角は、 $\angle b$  である。
- ウ  $\angle x$  の同位角は、 $\angle c$  である。
- エ  $\angle x$  の同位角は、 $\angle d$  である。
- オ  $\angle x$  の同位角は、 $\angle e$  である。
- カ  $\angle x$  の同位角は、 $\angle a$  から  $\angle e$  までの中にはない。

【6】 線分 AB と線分 CD がそれぞれの中点 O で交わっています。このとき、 $AC \parallel BD$  となることを、ある学級では、右の図 1 をかいて証明しました。

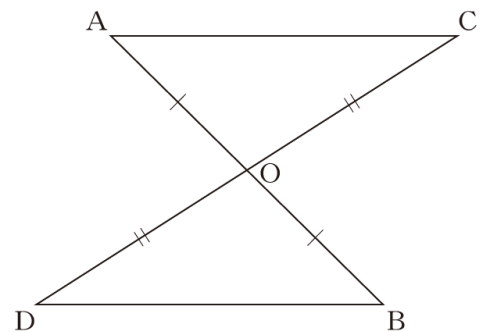


**証明**

$\triangle AOC$  と  $\triangle BOD$  において、  
 仮定から、  $AO = BO$  …①  
 仮定から、  $CO = DO$  …②  
 対頂角は等しいから、  
 $\angle AOC = \angle BOD$  …③  
 ①, ②, ③より、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから、  
 $\triangle AOC \equiv \triangle BOD$   
 合同な図形の対応する角の大きさは等しいから、  
 $\angle CAO = \angle DBO$   
 錯角が等しいので、 $AC \parallel BD$

この証明をしたあと、図 1 と形の違う図 2 をかいて、同じように  $AC \parallel BD$  となるかどうかを考えてみたところ、下のアからエまでのような意見が出ました。正しいものを 1 つ選びなさい。

図 2



- ア 図 2 の場合も、 $AC \parallel BD$  であることは、すでに上の証明で示されている。
- イ 図 2 の場合は、 $AC \parallel BD$  であることを、改めて証明する必要がある。
- ウ 図 2 の場合は、 $AC \parallel BD$  であることを、三角定規などを用いて実際に平行になっているかどうかを確認しなければならない。
- エ 図 2 の場合は、 $AC \parallel BD$  ではない。



平成 29 年度 ファイナルチェック問題 (30 分) 中学校 2 年数学 (5)

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

【7】 次の (1) ~ (3) の各問いに答えなさい。

(1) 下の表は、 $y$  が  $x$  に反比例する関係を表しています。表の  に当てはまる数を求めなさい。

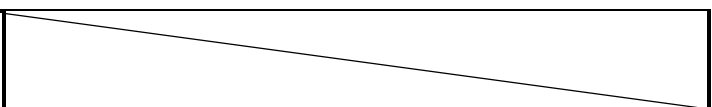
|     |     |    |     |   |    |   |     |                      |     |
|-----|-----|----|-----|---|----|---|-----|----------------------|-----|
| $x$ | ... | -2 | -1  | 0 | 1  | 2 | ... | 6                    | ... |
| $y$ | ... | -6 | -12 | × | 12 | 6 | ... | <input type="text"/> | ... |

(2) 一次関数  $y = 2x + 3$  について、 $x$  の値が 1 から 4 まで増加したときの  $y$  の増加量を求めなさい。

(3) 1 枚 10 円のコピーを何枚かとしたときの料金について「コピーをとる枚数を決めると、それにもなつて料金がただ 1 つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、 ① と  ② に当てはまる言葉を書きなさい。

① は  ② の関数である。

|     |                      |      |                      |  |
|-----|----------------------|------|----------------------|--|
| (1) | <input type="text"/> | (2)  | <input type="text"/> |  |
| (3) | ①...                 | ②... |                      |  |

【8】 次の記録は、ある中学校の生徒 9 人の垂直跳び（直立姿勢から助走せずにその場で両足の力で垂直に跳び上がるジャンプ）の記録を、記録が小さい方から順に並べたものです。

記録

35 38 40 43 44 47 48 52 55  (単位 : cm)

次の (1) , (2) の各問いに答えなさい。

(1) 記録の範囲を求めなさい。

(2) 記録の中央値を求めなさい。

|     |                      |     |                      |
|-----|----------------------|-----|----------------------|
| (1) | <input type="text"/> | (2) | <input type="text"/> |
|-----|----------------------|-----|----------------------|

平成 29 年度 ファイナルチェック問題 (30 分) 中学校 2 年数学 (6)

2 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )

【9】 次の (1), (2) の各問いに答えなさい。

(1) 表と裏の出方が同様に確からしい硬貨があります。この硬貨を 2 回投げたところ、2 回とも表が出ました。さらにもう 1 回投げて、3 回目の表と裏の出方を調べます。3 回目の表と裏の出る確率について、下のアからエまでの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア 表の出る確率の方が裏の出る確率よりも大きい。
- イ 表の出る確率の方が裏の出る確率よりも小さい。
- ウ 表の出る確率と裏の出る確率は等しい。
- エ 表の出る確率と裏の出る確率の大小は決まらない。

(2) 2 つのさいころ A, B があります。この 2 つのさいころを同時に投げるとき、出る目が両方とも 1 になる確率を求めなさい。ただし、どちらのさいころも 1 から 6 までの目の出方は、同様に確からしいものとします。

|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
| (1) |  | (2) |  |
|-----|--|-----|--|

平成 29 年度 ファイナルチェック問題 (30 分) 中学校 2 年数学 (解答例)

【1】

(1)  $-17$  (2) ウ (3)  $(x, y) = (1/3, 2/3)$

【2】  $160\pi$  (cm<sup>3</sup>)

【3】

(1) (例)  $3(n+1)$

$n+1$  は自然数だから、 $3(n+1)$  は 3 の倍数である。

したがって、連続する 3 つの自然数の和は、3 の倍数である。

※ $3(n+1)$  と計算して、次の (a), (b) の両方、またはどちらか一方を記述しているものを正答とする。

(a)  $n+1$  は自然数だから、

(b)  $3(n+1)$  は 3 の倍数である。

(2) (例) 連続する 3 つの偶数の和は、6 の倍数になる。

※「連続する 3 つの偶数の和は、◇◇になる。」という形で、◇◇が「2 の倍数 (偶数)」、 $3$  の倍数」、「6 の倍数」などと記述しているものを正答とする。

【4】 イ

【5】 エ

【6】 ア

【7】

(1) 2 (2) 6 (3) ① 料金 ② コピーをとる枚数

【8】

(1) 20 (2) 44

【9】

(1) ウ (2)  $1/36$